

令和4年10月27日 佐藤

～ あのヒーローも参上！子どもたちにもわかりやすい防災知識を～

# 区内の保育園と地元自治会、NPO 法人が合同で防災訓練を開催

10月26日（水）に、区立鐘ヶ淵北保育園（墨田区堤通2-8-15-109）で、同保育園と地元自治会である白鬚東地区自治会連合会、NPO法人地域防災推進機構による合同の防災訓練が開催されました。

この防災訓練は、地元の白鬚東第一自治会との合同訓練の一環で、避難誘導訓練などを実施するものです。同保育園での防災訓練は毎月実施されていますが、今回は新たな取組みとして、参加する園児等にもわかりやすく災害対応の重要性や防災に関する知識を学んでもらうことを目的とし、過去には千葉テレビでも放映され、現在は主にYouTubeで活躍する同機構の『防災勇士トリプルウィング』が、初めて画面を飛び出して会場に駆け付けました。

まずは大きな地震が起こったことを想定した初動対応訓練、さらに保育園から避難場所となる都営白鬚東アパートの集会室に避難誘導訓練を行いました。この場所は「白鬚防災団地」とも呼ばれ、災害危険度が高いこの地域に、防災の拠点として整備されたもので、高さ40mの住宅を1.2kmもの長さにわたって配置、災害時には避難者を受け入れます。今回は有事の際の避難先となる場所への誘導訓練ということで、多くの参加者が集まりました。園庭で遊んでいた園児たちもクラスごとに固まって集まり、教室にいた園児たちも教室の中心で頭を守り初期対応をとってから、避難を開始しました。

避難した団地の集会室には、『防災勇士トリプルウィング』が姿を現し、「じしんがおきたらどうするの？」「じしんのあとはどうするの？」など、地震をテーマにした防災研修を行いました。さらに、子どもたちの災害に関する想像力を育むことを目指して同機構が提供する災害想像ツール『もしもまきまき』を使った体験ワークショップも実施、参加した子どもたちや保育園の先生も、災害が起きた時に自分や周りで起こる出来事を想像しながら、学習しました。

参加した園児は「『もしもまきまき』のダンスを覚えて家族に教えたい」「トリプルウィングに会えて楽しかった」などといった感想が聞かれ、楽しんで防災学習を行いました。区の担当者も「子どもたちが楽しく学べる訓練の場にできたと思います。この体験を各家庭に持ち帰り、ご家族の方と共有してもらえると嬉しいです。今後も区内に広げていきたいと思います。」と話しました。

今後、年度内に近隣の保育園でも同内容の防災訓練・研修を開催する予定です。

## 《写真》 当日の様子



## 《概要》 防災訓練

日時：令和4年10月26日（水）10時00分～11時30分

会場：区立鐘ヶ淵北保育園（墨田区堤通2-8-15-109） 都営白鬚東アパート（墨田区堤通2-3-2）

内容：初動対応訓練及び避難誘導訓練、防災研修、災害想像ツール体験

参加者：鐘ヶ淵北保育園、白鬚東第一自治会、NPO法人地域防災推進機構 ほか

### 《その他》防災勇士トリプルウィング

かつて災害で家族を失った主人公が、妖怪仙人に出会うことによってウィングレッドとなり、仲間と共に過去の異次元時空間で災害を引き起こす妖怪に立ち向かい、災害によって無念にも命を落とした人たちの魂を救う物語。

幼稚園児及び小学校低学年向けの防災教育研修に展開することを目的として NPO 法人地域防災推進機構が企画し、2021 年 7 月期に千葉テレビで放映（全 12 話）現在は YouTube で配信中。

動画 URL（第 1 話）：<https://youtu.be/3y1GciTAd0c>

### 《その他》NPO 法人 地域防災推進機構

「多くの人々が災害に対する知識と災害リスクに対する適切な対応能力を日常的に身につけ、安全にかつ安心して暮らせる家庭と社会を築き、その結果として、災害時の人的・物的・経済的被害の軽減をはかる」ことを目指し、令和 2 年に設立された。防災力推進に関する事業や情報発信事業など、さまざまな事業に取り組んでいる。

東北大学災害科学国際研究所 村尾 修 教授をはじめとする都市防災の研究者や学生などが、『防災勇士トリプルウィング』の企画、脚本、イベント出演なども行っている。

ホームページ：<https://www.noa-drr.org/>

### 《問合せ》子ども施設課 03-5608-6161

お問合せは、午後 5 時までにご利用いたします。（広報広聴担当 03-5608-6220）